

ゆうくんのなつやすみ

ゆうくんは、げんきでやさしいおとこのこです。

むしがだいすきで、いろいろなことをよくしっていて、ともだちからむしはかせとよばれています。

まちにまったなつやすみ。

ゆうくんは、だいすきなおじいちゃんのいえにとまりにいきました。つぎのひ、ゆうくんはあさはやくおきて、おじいちゃんといとこのまあくんとクワガタムシをとりにでかけました。

クワガタムシをさがしてどんどんやまのなかへは行っていきました。ふときがつくと、おじいちゃんたちとはなれてしまっていました。

(どうしよう。) としんぱいしていると、どこからかむしたちのはなしごえがきこえてきました。



「おちばのふとんはだいすきだけど、このごろしろいへんなものがまじっているよ。」

「つるつるしているよ。」

「すべってあるけないよ。」

「なかまのむしがなかにはいってでられなくなったよ。」

「かわいそうに。」

「つのがひっかかってけがをしたむしもいるよ。」

と、こまったことをはなしていました。

そこへからすがとんできました。

「このしろいものはなんだろう？」

と、むしたちがききました。



するとからすが、

「それは、にんげんがすてたごみだ。かわのさかなたちも、『さいきんへんなものがよくういている。かわのなかですごくじゃまになっている。』とってたよ。」

と、おこっていいました。

そのはなしをきいてゆうくんははっとしました。

そこへゆうくんをさがしていたおじいちゃんたちがきました。ゆうくんはむしたちのはなしをしんけんなかおでつたえました。

するとおじいちゃんは、

「やまやかかわへあそびにいて、ペットボトルやたべものようきやビニールぶくろなどをすててかえるひとがいるだろう。やまにのこったペットボトルやビニールぶくろはいつまでたってもつちにかえらないんだよ。うみにながされたビニールぶくろはいきものがえさとまちがえてたべてしまうこともあるんだよ。かわいそうだろ。いきもののかんがえると、やまやかかわにごみをすててはいけないだろう。」

と、おしえてくれました。

ゆうくんはなるほどとおもいました。

ゆうくんはこころのなかでむしたちに（ごめんね。）と、いいました。そして、（むしたちのためにどんなことができるかな？）と、かんがえながらかえっていきました。